

宮坂建設工業など表彰

道が防災功労社会貢献賞で

道は9日、道庁本庁舎で防災功労者の北海道建設工業(本社・帯広市)など3団体に高橋はるみ知事が表彰状を手渡した。功績をたたえた。



高橋知事(右)から表彰状を受け取る宮坂社長

道は9日、道庁本庁舎で防災功労者の北海道建設工業(本社・帯広市)など3団体に高橋はるみ知事が表彰状を手渡した。功績をたたえた。

啓発イベントに参加し、活動の周知を図っている。それぞれの特性を生かし、防災啓発に努めているのが評価された。表彰式では高橋知事が、近年の自然災害、地震、大雪など道民の安全と安心の確保のために解られている努力に感謝すると敬意を表した。

宮坂建設工業の宮坂寿文社長は「大変な苦難な表彰」と喜び、避けて通れない自然災害に対し「今後、防災教育に力を入れていく」と述べた。

宮坂建設工業に表彰状を授与

道社会貢献賞



高橋知事から表彰状を受け取った宮坂社長(左)

同賞は、道が地域における自主的な防災活動の推進や防災意識の向上を図るため、その分野で特に功績のあった個人や団体を対象に昨年度創設した。同社は1993年の釧路沖地震を契機に防災訓練を開始。2003年の十勝沖地震を機に地域住民や自衛隊、警察、消防などを含む大規模な防災訓練に発展させ、毎年2500〜3000人が参加している。

授賞式で高橋知事は「自然災害は常に発生しており、地震や暴風雪にも注意が必要。民間企業や地域主体の取り組みは不可欠だ」と話し、同社の宮坂社長は「ともに取り組む関係団体や地域など、みんなで頂いた賞。建設業は防災産業だと考えるので、今後も活動を強化させていく」と述べた。

(浅利圭一郎)

優れた取組たたえる 道社会貢献賞防災功労者 宮坂建設工業らに表彰状

道は9日、道庁知事会議室で北海道社会貢献賞(防災功労者)の表彰式を挙行した。高橋はるみ知事が宮坂建設工業(帯広)などに表彰状を贈呈。ことしの三団体の代表者一人ひとりに表彰状を手交。「防災への取組を通して、道民の安心・安全のために努力されている」と功績をたたえ、感謝の意を示した。

昨年度に創設された同賞は、地域における自律的な防災活動の推進や防災意識のより一層の向上を図るため、防災対策の推進に貢献した個人または団体を顕彰するもの。本年度は、親子防災訓練や被災地支援などを行っている宮坂建設工業をはじめ、有珠山周辺地域ジョパーク友の会(札幌)、北海道コカ・コーポトリック(札幌)の三団体が受賞した。

表彰式では、高橋知事が三団体の代表者一人ひとりに表彰状を贈呈。ことしの台風災害などにふれた上で、「防災への取組を通じて、道民の安心・安全のために努力されている」と感謝。今後のより一層の活動に期待を寄せた。



表彰状を受け取る宮坂社長
「表彰状を授けたい」との意向を示したほか、親子防災訓練の取組やその効果を紹介。全道に活動を広げていければ」と述べた。

宮坂建設工業の宮坂寿文社長は「防災産業」として建設業界を発展させていくと述べた。